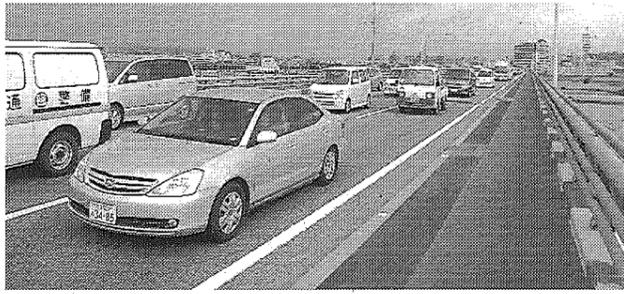


# 老朽インフラ 迫る寿命

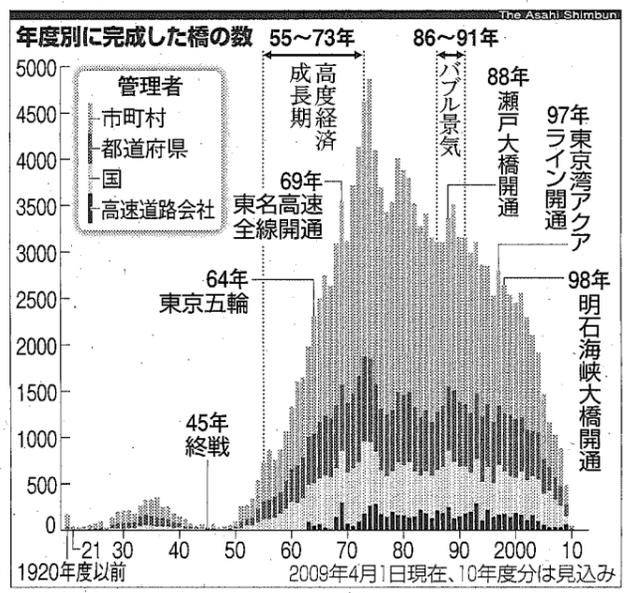
## 増える補修費 維持限界

全国の橋や道路、水道といった社会資本（インフラ）が一斉に寿命を迎えつつある。高度経済成長期に大量に造られ、10年後には橋だけでも4万カ所超で築50年以上となり、急速に損傷や劣化が進む。財政が厳しく、税増も見込めないなか、自治体の中には「すべてを維持するのは難しい」と取捨選択を進める動きが出てきた。



通勤などで混雑する平日朝の吉野川大橋。1月に橋の鋼材にひび割れが見つかり、2カ月間車線が規制され、激しい交通渋滞となった—徳島市

1日に7万7千台の車が通行し、徳島市への玄関口となる吉野川大橋。全長1.37キロの橋が1月下旬、一部通行止めになった。5年に1度の点検で路面下の鋼材の溶接部分などに268カ所のひび割れが見つかり、路面が陥没するおそれがあったためだ。完成から40年。片側3車線のうち中央車線を止めると、朝



「いつか橋が落ちる事故が起きても不思議ではない」と京都大学大学院工学研究科の藤井聡教授（都市社会学）は指摘する。老朽化が進むのは橋だけではない。同省の推計では、港湾、下水道、住宅など8分野の維持・更新費は60年度までの50年間で1990兆円必要だが、30兆円不足する。

## 残す施設優先度で選ぶ

自治体の中にはインフラ全体の数を減らすため、優先順位をつけて、あまり使われない橋や施設を統廃合する動きが出てきた。香川県さぬき市は西部の過疎地域にある橋の廃止を近く住民にはかる。築50年。約90メートル離れた場所に新しい橋ができるため、市は不要と判断している。さぬき市には約510の橋があり、約8割は20年後に築50年を超える。二つの港と下水道も修繕を迫られる。市幹部は「すべての公共施設は維持できない」と言う。

大阪府はインフラ補修のため、この2年間で90億円の地方債を発行した。70年の大阪万博直前に建設した公共施設の修繕に予算が追いつかなくなった。今後も借金などで同規模の穴埋めを続ける必要がある、新規の道路建設などは計画見直しも迫られる。

設の運営状況・費用を白書にまとめ、今年度から公民館や図書館の統廃合に乗り出す。すべての建て替えに必要な費用を1千億円超と公表し、住民との話し合いも重ねた。市が管理する20本の橋には、早期の架け替えが必要など損傷したものもあるという。施設の統廃合の手法を「道路や橋にも今後応用する」（市幹部）という。公共施設の統廃合には、神奈川県の秦野市や埼玉県宮代町なども取り組む。橋の安全監視に住民が行

問責閣僚の交代可能性におわす 前原政調会長 民主党の前原誠司政調会長は30日、民主党が掲げる新しい年金制度について「我々の考え方をしっかりと示したうえで、野党の理解を得るためにしっかりと交渉に当たる」と述べ、与野党協議しだいで撤回する可能性を示唆した。訪問先のモスクワで同行記者団に語った。また、問責決議を受けた前田武志国土交通相と田中直紀防衛相について「しっかりと仕事をしてほしい」としたうえで、「政治は日々刻々と動く。総理は社会保障と税の一体改革に政治生命をかけると言っており、常にベストの判断をされる」と確信している」と指摘。消費増税法案の審議を進めるための交代もあり得るとの認識を示した。（モスクワ）

## レアアースインドから

## 年間4千トンを輸入に合意

日本とインド両政府は30日、日本の年間使用量の1割強に当たるレアアース（希土類）をインドが日本に輸出することで大筋合意した。主な産出国である中国の輸出制限が続くなか、日本は官民で代わりの調達先を探してきた。8月にも輸出を始める。

すでに豊田通商はインド南部のアンドラプラデシュ州で工場建設を進めているが、日本への最終的な輸出量や利益配分などをめぐり、これまで両国間で調整が難航していた。

計画では、ウランを精製する途中で出た残渣からランタンやセリウム、ネオジムなどのレアアースを取り出す。いずれもハイブリッド車や家電の部品に欠かせない原料だ。インド公社が途中まで精製し、豊田通商がさらに精製して出荷する。（ニューデリー）

今回の共同声明の特徴は、「日米同盟」がアジア太平洋地域を不安定にさせないための抑止力になるとの考えを鮮明にし、同盟関係をさらに発展させる方針

## 日米、中国を牽制

## 6年ぶり共同文書

今回の共同声明の特徴は、「日米同盟」がアジア太平洋地域を不安定にさせないための抑止力になるとの考えを鮮明にし、同盟関係をさらに発展させる方針

**最近の日米首脳が出した共同文書（敬称略）**

	<b>橋本—クリントン</b>	<b>日米安全保障共同宣言</b>	1996年4月
	<b>小泉—ブッシュ</b>	<b>新世紀の日米同盟</b>	2006年6月
	<b>野田—オバマ</b>	<b>未来に向けた共通のビジョン</b>	今回

●歴史上最も成功している二国間関係の一つである  
●堅固な同盟関係は、冷戦の期間中、アジア太平洋地域の平和と安全の確保に役立った

●日米関係が歴史上最も成熟した二国間関係の一つである  
●世界の中の日米同盟が、一貫して建設的な役割を果たし続ける

●同盟の力強さは、昨年、東日本大震災でも示された  
●日米同盟が、日本の安全保障と、アジア太平洋地域の平和、安全保障、経済的繁栄に必要な不可欠

して「アジアを再び率いる」と表明。テロとの戦いに進出する中国を牽制するも「米国のアジア太平洋重

団に「激変するアジア情勢のなか、将来に向けた日米同盟のビジョンを両国民にわかりやすく示したい」と表明。両者の思惑が一致したこと、今回の共同声明発表につながった。最近の日米共同文書では、1996年に橋本龍太郎首相とクリントン大統領が出した「日米安保共同宣言」21世紀に向けての同盟と、06年の小泉純一郎首相とブッシュ大統領による「新世紀の日米同盟」がある。96年には、北朝鮮の核危機や中台緊張を踏まえて冷戦後の日米同盟を再定義。

**最新刊**

**あなたを たった1冊で**

**医者は、**

**これを合**

日本人のための食養生

●玄米は子供に無理やり食べさせない  
●味噌汁は飲む点滴  
●本当に正しい食事を、

**角川学芸出版 新刊・話題作**

**報道されな**

**沈黙する「国防の島」**

宮本雅史

芭蕉と歩く おくのほそ道

重版出来! カメ流市

5刷決定! 古典基礎

**角川ソフィア文庫**

**いきなり はじめめる 仏教入門**

内田樹／釈徹宗

**私の 六十年目の証言 沖繩戦記**

前田高地

**外間守善**